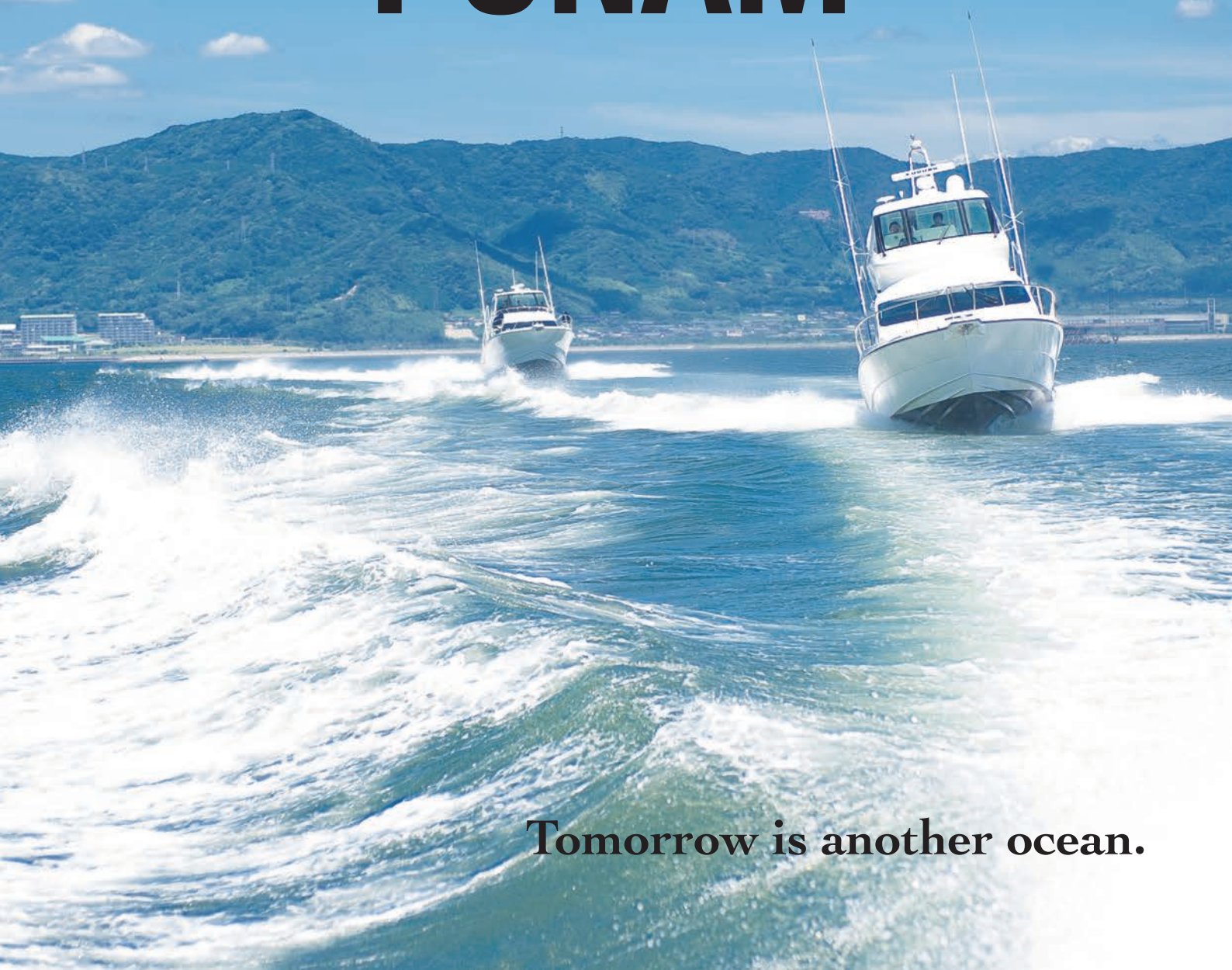


TOYOTA MARINE

Ocean Style

Jan 2014
Vol.2

Together with PONAM



Tomorrow is another ocean.

空から海へアクセスできる、 新しいマリナーライフ。

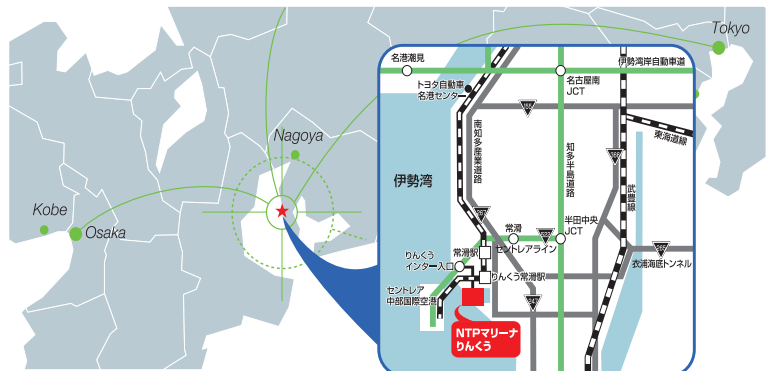
The Invitation To New Marina!

NTPマリナーりんくう 保管艇募集中!!

お気軽にお問い合わせください。



中部国際空港サイドに空から海へアクセスができる新マリナーがオープンしました。小型艇から70ftクラスの大規模艇保管にも対応し、伊勢湾・三河湾はもちろんのこと、伊勢志摩や御前崎・潮岬へのクルージングにも絶好のポジションを誇る、中部エリア最大級のマリナーです。



NTP 名古屋トヨペット マリン事業部

トヨタマリンボート販売店

NTPマリナーりんくう

TEL(0569)35-7200 常滑市りんくう町3-6-1

姉妹マリナー **NTPマリナー高浜** TEL(0566)54-5300 高浜市青木町1-1

さらに詳しい情報は

NTPマリナーりんくう

検索

<http://www.ntp.co.jp/marina/>

Contents

- 004 巻頭言 — Message from TOYOTA MARINE
- 006 LOOK NEXT!
**風を切って進む非日常の世界と、
大自然が教えてくれた
新たな人生観**
スペシャルインタビュー 飯田 章 氏
- 010 海に出たときの頼れる味方—初心者をもプロフェッショナルに変える
TVAS に肉薄！
- 012 JAPAN INTERNATIONAL BOATSHOW 2014
- 014 **Fun to Cruise** —私とクルーザーの距離感—
株式会社コア 代表取締役会長 種村 良平 氏
- 018 女性の、女性による、女性のためのポーナムって何？
PONAM of the woman, by the woman, for the woman!
—澤村里麻さん
- 022 TOYOTA MARINE PREMIUM CRUISE
@ラグーナ蒲郡 2013/8/3
- 026 大切なビジネスパートナーをもてなす
トヨタポーナムの底力
- 030 東京湾プレミアムクルージング
新しい友達と盛り上がるポーナムクルージング
- 034 PONAM 体感試乗会～東京湾クルーズ～
- 036 トヨタマリンスタッフに聞く！愛艇を影から支えるサービススタッフ
関東担当：大塚 昇 関西担当：松田 功
- 038 MARINA DIVIDE —マリーナ探訪
— Vol.2 長崎サンセットマリーナ
— Vol.3 西福岡マリーナ マリノア
- 044 GASTRONOMY CRUISING —クルーザーで行くレストラン
リビエラ逗子マリーナ リビエラグランブルー
- 046 Cruise Service Concierge
キャンパー&ニコルソンスのチャーターマネジメント
- 048 Dealer Pick Up — NTP マリーナりんくう
- 049 販売代理店一覧
- 050 編集後記

Message from TOYOTA MARINE



クルーザー情報誌『TOYOTA MARINE Ocean Style』の第2号をお届けします。好評を頂いた第1号の編集方針を引き継ぎ、更なるマリンカルチャーの発展に向けて、豊かなマリンライフを実現するための情報を満載しました。

四方を海に囲まれた日本は、四季折々の美しい姿を見せてくれます。また海の楽しみ方も様々です。今回はレーシングドライバーの飯田章さんやカジキ釣りの名人でポーター45のオーナーでもある種村良平さんに、それぞれのマリンライフの魅力を語って頂きました。お二人とも私の大切な友人であり、お客様でもあり、何よりも「海遊びの達人」です。まだクルーザーに接したことがない方にも是非、その魅力を感じて頂きたいと思います。

昨年は東京モーターショー、シーテック、ITS 世界会議とトヨタにとって大きなイベントが続きました。そこで私達は「クルマがお客様や社会にとって、心ときめく頼りがいのあるパートナーになる・・・」という近未来のスマートモビリティ社会を提案させて頂きました。モビリティの可能性は陸から海へ無限に広がっていきます。トヨタマリンはスマートで環境に優しい「海のパッセンジャーカー」づくりを通じて、これからも皆様のマリンライフを応援していきたいと思っています。



トヨタ自動車株式会社 常務役員
友山 茂樹







SPECIAL INTERVIEW

陸の楽しさも海の楽しさも知り尽くした PONAM-35SWのアドバイザーが語る

LOOK NEXT!

風を切って進む非日常の世界と、 大自然が教えてくれた新たな人生観

レーシングドライバー

飯田 章

インタビュー・文

増渕 達也(本誌編集長)

レクサス・LFA等の開発ドライバーやGAZOOレーシングチームの監督兼ドライバーとして、トヨタ自動車との関わりが深い飯田章氏。幼い頃からマリンスポーツに触れてきて、PONAM-35SWの外部アドバイザーとして開発に携わった飯田氏に、PONAM-35SWやマリライフの魅力を聞いた。

【飯田章氏プロフィール】

1989年7月9日、富士フレッシュマンレースに19歳でデビューし、初戦で3位を獲得。1992年にN1耐久レースへ参戦後、翌1993年に全日本ツーリングカー選手権(グループA)、1994年にル・マン24時間レースを経験し、それ以降国内のF3000(現SUPER FORMULA)、JTCC、JGTCで活躍。1996年には単独でヨーロッパに渡り、国際F3000へフル参戦。その後、2002年全日本参戦10年目にして、JGTCでチャンピオンを獲得。レクサス・LFA等の開発ドライバーの一人でもあり、2008年以降GAZOOレーシングからLFAでニュルブルクリンク24時間レースにも参戦、2010年にはクラス優勝を飾った。近年ではニュルブルクリンク24時間レースに参戦しているGAZOOレーシングチームの監督兼ドライバー、SUPER GT GT500クラスLEXUS TEAMの監督、D1グランプリの審査員、マカオGP出場等のほか、PONAM-35SWの外部アドバイザーとして開発に携わるなど、様々な活動を行なっている。

飯田章オフィシャルサイト：<http://akira.jp/>

「海からしか見ることでできない美しい日本を堪能できる。」

これぞまさに、クルーザーがあるからこそその海の楽しみのひとつなんです」



父から教わった海の魅力

豊田社長にも自分の意見を真っ直ぐに表現できる数少ない人物の一人と聞いていたので、私は飯田氏にインタビューできることを心から楽しみにラグーナ蒲郡に乗り込んだ。

ニールブルクリンク24時間レースなど、国内外のさまざまなレースに参戦している飯田氏だが、実はクルマよりも先にマリンスportに触れていたというのは意外だった。

きっかけは幼い頃に父親に連れられて始めたというヨット。他にも家族でクルーザーに乗って海へ出かけることも多かったそう。

「小さい頃は海へ行くのが楽しみでした。今も時間があれば東京湾から沖の瀬付近まで出て行って曳き釣りをしてるんですよ」と語る飯田氏。「海で遊ぶということの楽しさや厳しさを父やその仲間から教えてもらいました」という飯田氏にとって、海は美しい自然との出会いの場であり、厳しい自然と向き合う場でもあるようだ。

「何かが起きる前には、風や潮や海の生き物がメッセージを送っているんです。大自然の厳しい側面もありますが、海からしか見ることでできない美しい日本を堪能できるのも、海の素晴らしい魅力のひとつです」。

厳しさも素晴らしさも併せ持つ海と向き合って理解するということ
が、飯田氏にとっての海の魅力なのだろう。

クルーザーに乗ると スイッチが切り換わる

レーシングドライバー仲間の中に



トヨタモータースポーツフェスティバル (TMSF) 2010 で GAZOO レーシングチームと笑顔で記念撮影に臨む飯田氏。レースとはまた違った和気あいあとした雰囲気包まれた会場で、モータースポーツファンと触れ合いを楽しんだ。

は休日にも海へ出る人も多いそうだ。
「クルーザーに乗るとスイッチが切り換わるんですよ。人間がアップデートする感じというか、表現力が増していく感じがするんです」

レースの世界はスピードの世界であり、ひらめきが重要。対して船の世界はデバイスの向上が大きな意味

を持つという。一見全く別の世界に見える両者だが、飯田氏をはじめレーシングドライバーの多くがクルーザーに魅力を感じるのはいくつかの根底にあるからかもしれない。

ポーナムが持つ 「メッセージ性」を感じてほしい

「ボートオブザイヤーの選考委員をやらせていただいて、そのご縁でトヨタマリンオーナーズクラブの発足のイベントにお招きいただいたのが、トヨタのボートと関わるようになったきっかけです」

その年のボートオブザイヤーにはポーナム35が選ばれ、さらに良いクルーザーを造ろうと積極的に外部の意見を取り入れようとしていたトヨタにとって、幼い頃から海に親しんできた飯田氏はまさにアドバイザーとしてうってつけの存在だったのだと思う。

飯田氏は、性能の面ではポーナム35は申し分のない素晴らしいクルーザーだと感じていた。だから、「遊びに特化して、こういうクルーザーで遊べる人はこういう人とターゲットを割り切って開発に参加しました」という。高級感はそのままだ、木目調のインテリアで、落ち着いたくつろげる空間に変えた。

これだけではなく、キャビンの窓の高さにまでこだわり抜き、数センチ単位で調整したという徹底ぶりには脱帽した。「人間工学的な商品開発を大切に考えたということですね」というと、飯田氏は「そうなんです。ポーナムに乗ったときの視線を大切にしました」と語った。この小さなこだわりが、今まで以上にキャビンからの風景を堪能できる空間を生み出しているに違いない。

「リビングスペースはあまり変わっていないんですが、サロンの、仲間との距離感が出るような設計にしました」。こうしてポーナム35は一味も二味も違うクルーザーへと確実に進化した。

それは、「開発の常識に捕らわれず、着地点を決めずにゼロベースで徹底的に議論しました」との言葉通り、飯田氏がユーザー目線に徹して開発に参加したからこそなされた成果なのだと感じた。

新しいポーナムで 新しい人生観を

「新しい動力やクリーンエネルギーを利用したクルーザーができるのもっといいですね」と次世代ポーナムも見据える飯田氏。

最後に、飯田氏は「地図でしか見



高級感や上質感はそのままに、暖かな木目調のインテリアによって落ち着いたくつろげる空間に生まれ変わった PONAM-35SW のキャビン。

たことのない世界を実際に目にすることで、人生観が大きく変わっていくことを父から教わりました。ぜひ多くの方にポーナムで海の魅力を感じてほしいですね。ポーナムの乗り心地を他のボートと比較すればその素晴らしさもきっとわかってもらえると思いますよ」と、読者に向けてメッセージを送ってくれた。

私自身、別のクルーザーに乗った後にポーナムに乗って、その良さをもっと実感できるような試乗会企画もやってみたいな、というのがインタビュー直後の実感だった。もっとも、それも陸も海も知り尽くした飯田氏の知恵ではあるけれど。

海に出たときの頼れる味方—初心者プロフェッショナルに変える

TVASに肉薄!

海の上で船が流されないようにするには、アンカーを下ろす必要がある。しかし、実際に行うとなると、アンカーの上げ下げなどは煩わしいもの。そんな煩わしさを無くし、ひとりでも簡単にワンタッチでポジションキープ! トヨタ独自の操船支援システム「TVAS (TOYOTA Virtual Anchor System)」にロックオン。



操船を驚くほどカンタンにした
TVAS

クルージング、フィッシング、ダイビングなど、海に囲まれた日本ではさまざまなマリレジャーを楽しむことができる。

しかし海上では風や潮流の影響を受けるため、操船は意外と難しい。船舶免許を取ったばかりの方ならなおさらだ。

そんな難しい操船をなんと「ボタンひとつ」でカンタンなものにしてしまうのが、トヨタ独自の操船支援システム「TVAS (トヨタバーチャルアンカーシステム)」だ。



「停船から花火まで、自信を持ってオススメします!」

クルーザーオーナーにとって避けられないのが、ハーバーへの停船だ。

「出港や帰港のときは、ロープやフェンダー (バースなどで船の側面が傷つかないように保護する道具) の出し入れが必要なんですが、バーチャルアンカーモードを使うとクルーザーをバースから少し離れた広いところに停めてそれらを出し入れする際に、人手が少なくて済みます」と開発スタッフの山崎氏と伴氏は語る。

もちろんこれだけではない。「バーチャルアンカーモード」は、花火を見るタイミングにも最適だ。



「バーチャルアンカーモードはGPSによって船を一定の位置に留めておけるので、細かい船の位置調整に煩わされることなく夜空に輝く花火を楽しむことができますよ。それに、自動的に風や潮流に合わせて船首の向きを調整してくれるので、

風や潮流の抵抗が最小限で済みます。だから、他の停船システムと比べて少ないエネルギーで効率的に停船できるため、静かで燃費もいいんです」

また、アンカリングをバーチャル化させたことによって、実際にアンカーを上げ下げしなくてはならない煩わしさがなくなっただけではなく、水深やサンゴなどに関係なく好きなところにアンカリングができるようになった。

底釣りや流し釣りの
頼れるサポーター

釣り好きの方の中には、底釣りや流し釣りを楽しんでいる方もいるだろう。そんな方たちにもTVASはオススメだ。

先程の「バーチャルアンカーモード」は、ポイントを固定して行う底釣りにもってこいだ。

また、流し釣りには「バーチャルスパンカーモード」と「バーチャルコンパスモード」が最適。



風向きを感知して、船首を自動的に風上方向に合わせてくれるので、船を流しながら行う流し釣りが簡単にできてしまいます。風と潮流の向きが異なる場合は、バーチャルコンパスモードで船の向きを一定にすることができるようになります」



とにかくわかりやすく丁寧な、海に出たときにどのような形でTVASが役立つかが説明してくれた山崎氏と伴氏。連携もばっちり映る。

山崎氏と伴氏にサポートされ、さまざまなシーンで活躍するTVAS。使いこなせばまさに海はあなたのものだ。



「世界最高の技術で海をもっと自由に楽しんでほしい」（山崎氏）

「船を操るのは難しいというお客様の声をなくすことが私の使命です」（伴氏）



世界に誇るトヨタの技術で、操船は難しいという常識を覆した山崎氏と伴氏。彼らが開発した「TVAS」は、間違いなく海の楽しさを身近なものにしてくれた。

これも見逃せない！
TDA
（トヨタドライバアシスト）

ジョイスティックを操作するだけで、直観的にポーンムを操作することができるトヨタ独自の画期的な操船システム、それがTDA（トヨタドライバアシスト）だ。

ジョイスティックを前に倒せば前に進み、真横に倒せば真横に平行移動し、斜めに倒せば船首の向きを変えることなく斜めに平行移動する。さらに、回転させたい方向にノブを回せばその場でポーンムが回転する。また、ノブを大きく倒せば大きく移動し、小さく倒せば小さく移動するので、微妙な調節も思いのままだ。

マリーナ内での離着岸は、普通なら潮の流れや風向きを読みながら行う必要があるのだが、TDAならジョイスティックの操作だけで簡単安全に離着岸が可能になる。



開催迫る！ ボートショーで最新の ポーナム情報をゲット！



今年もトヨタマリンが「JAPAN INTERNATIONAL BOATSHOW 2014」にポーナムを出展します。昨年は、たくさんの方々にトヨタマリンのブースにお越しいただき、ポーナムの良さを知っていただきました。

パシフィコ横浜でポーナム28Ⅲ / 28L を屋内展示、横浜ベイサイドマリーナでポーナム-35SWを屋外展示します。また、試乗会の予約も随時承っております。

ぜひこの機会に会場に足を運んで、最新のポーナムを実際に見て、触れてみてください。横浜でお会いしましょう！

【PONAM-35SW】

トヨタの技術を余すことなく取り入れた最高峰のPONAM。初心者でも簡単に操船ができるトヨタ独自のアシストシステムや、白と黒を基調とした今までにはない洗練されたデザインが特徴的だ。木目調のインテリアが美しいPONAM-35SW も用意され、まさにプレミアムクルーザーにふさわしいコンバーチブルだ。



【PONAM-28L】

いけすとしても使用可能な大容量の収納ボックスをはじめ、フィッシングのときにつま先を差し込めるサイドストレージ、フィッシングギャレー、デッキウォッシュなど、釣り好きにはたまらない設備が充実しているフィッシングクルーザー。



JAPAN INTERNATIONAL BOATSHOW 2014

○会期

2014.3.6 (木)・7 (金)・8 (土)・9 (日)

○開場時間

10:00 ~ 17:00 (両会場とも)

(3月6日は11:30 一般開場)

○会場

第1会場 屋内展示 パシフィコ横浜

第2会場 屋外展示 横浜ベイサイドマリーナ

○入場料

1,200 円 (2会場共通 / 中学生以下は無料)

※ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。

※2会場の移動には無料シャトルバスと有料シャトルボートがご利用いただけます。

※両会場ともペットを同伴しての入場はご遠慮ください。(盲導犬、聴導犬、介助犬を除く)



FUN TO CRUISE

クルーザーオーナーに聞く 「私とクルーザーの距離感」

File.3

種村 良平氏



Profile
株式会社コア
代表取締役会長

2013年8月現在、70本のカジキを釣りあげている種村氏。カジキ釣りのためのクルーザーとしては自身3艇目となるポーター45に変えて、更なる高みを目指して毎年トローリングに挑み続けている。33歳という若さで起業し、グループ会社にまで育て上げた種村氏のインタビューを通して、カジキ釣りやカジキ釣りを支えるクルーザーの「コア」を探る。

インタビュー・文 増淵 達也（本誌編集長）

カジキ釣りの 奥深さに魅せられて

種村氏はいわゆるベンチャービジネスの草分けとして有名な方で、私も以前からぜひ一度お会いしてみたい方だった。この方もポーター

クワク感が蘇ってきましたね」と、その時の興奮そのままに語ってくれた。その大漁の釣果が、仕事が忙しくしばらく釣りから遠ざかっていた種村氏を、再び釣りの世界に誘ったようだ。

そしてカジキのヒット。これまでとはまるで違う動きをした1本の竿と、船内に響く「カジキだ!」という声に、種村氏は「信じられない!」と驚きを隠せなかったという。結果的にカジキを釣りあげることができなかったが、「かえってそれが自分で釣りたいという思いを強くした気がしますよ」と当時を振り返る。

幼い頃から川や池で釣りを楽しんでいた種村氏がトローリングを始め、たきつけは、友人に誘われて海釣りに行ったことだったという。当時、数匹釣ればいい方なのだろうと思っていたようで、「ポイントに着くなり次々に上がるカツオやサワラを目の当たりにして、幼い頃のワ

トローリングを始めるにあたり、種村氏がまず考えたことは「やるなら社員とやろう」ということだった。川や池とは違い、トローリングともなれば当然チームワークが必要



「クルー」の一員の仲谷氏

とカジキ釣りに共通するところを聞いてみたいと思っていたが、まさに思っていた通りだった。

経営のコア、 カジキ釣りのコア

33歳の若さで種村氏が起業した当時は、今と違って若い社長を支援する体制は十分に整っておらず、国はまだベンチャーを支援する姿勢をもっていなかったし、銀行はそれ以上冷たかったと思う。そんな中、自分の力を頼りに会社を株式公開に導くことができたのは、目標は必ず達成するという強いコアがあったからだ。

種村氏は、強い信念と不屈の精神をもって、常に巨大な企業に立ち向かい挑んできた。サワラなどとは違い、強く激しい抵抗をみせるカジキは、種村氏にとっては大企業と同じように映ったのかもしれない。

共に会社を大きくしてきた社員たちと最も大きなカジキを釣るとい

「会社の経営もカジキ釣りも、

コアにあるものは実は同じなんです」



同じく「クルー」の宮内氏



自慢のカジキの剥製の前でポーズをとる破顔一笑の種村氏。「世界にたったひとつしかない私の宝物なんですよ」。

ポーナムに対する 信頼と安心

「実はしているときなど、前のポーナムはエンジンまわりのトラブルだらけで、海で命拾いしたこともあったんです。それがポーナムに替えてからはトラブルがなくなつて、本当に安心してトロリングに出られるようになったんですよ」と「チーム」の一員である、宮内氏、仲谷氏は語る。台風やしけによって命の危険に見舞われたこともあれば、あまりの大きさに公式ルールに則った引き揚げができず、310キロというカジキが幻の記録になったこともあったそうだ。

より早く、より安全に。更なる高みを目指して種村氏が3艇目を選んだのが、ポーナム45だった。「いやあ、ポーナムに替えてみてびっくりした





インタビュー終了後、本社地下のバーで。取引先との商談の他、ひとりで物思いに耽りたいときに利用するそう。私も一杯ご馳走になってしまった。

よ。本当に波切りがよくてね。他のクルーザーとは全く違うんだよ」と語る種村氏は、その圧倒的なクオリティに驚いたという。アルミハルによる波切りの素晴らしさ、自動車開発のノウハウを活かして設計された先進的なデザイン、難しいと言われる横移動を簡単にしている独自開発によるポーンムのシステム。

そのチャレンジ精神あふれるトヨタの姿勢と、その上に成り立っている確かな技術・品質に、種村氏が一気にファンになったというのも当然だろうと感じた。確固たるコアがあつてはじめてチャレンジングな投資ができる。経営に通じるものがある。

「コアドリーム」へのこだわり

種村氏が保有してきたクルーザーには、全て同じ名前が付けられている。

コアドリーム号。

もちろん、ポーンム45もこの名前だ。名前の由来は社名である「コア」。この社名は、IT企業であることからコンピュータの「CPU」を表している他、「業界の核となる」「普遍的に社会に通用する企業でありたい」という意味も込められている。種村氏が船名にこだわりをもつ

は、トロリーリングにおいても会社においても常に目標を掲げチャレンジを続ける種村氏の人生観がベースにある。

その目標を達成するために、上場企業、のオーナー経営者が選んだのが、ポーンム45である。種村氏がクルーザーをポーンム45に変えてからは、2008年に年間最多の釣果数を記録したほか、2009年にバシヨウカジキで3位、2010年に215キロのビッグマリンを記録するなど絶好調だ。「安心感」に勝る基盤などあるはずがないという気持ちの表れに違いない。

受け継がれる「コア」

種村氏は、毎年兄弟と家族でト





喜君も、カジキ釣りを通して海から
小学1年生の種村氏のお孫さん大

「海ってというのは不思議なもので、一回一回全く違うんだよ。風向きとか潮の流れとか天候とか。もちろんカジキもね。だから毎回海から学ぶことが多くて、何度やってもまた海に行きたくなっちゃうんだよ」と童心に返ったような笑顔で語ってくれた。

当然ながら、カジキ釣りというのは、そう簡単にできることではない。だからこそ、若い頃にカジキ釣りを経験するというのは本当に貴重で、情操教育の面からも非常に有益であると考えているのだと思う。

ローリングに出かけているという。そこには、家族で楽しい時間を過ごすということの他に、教育としての側面もある。



「もっと大きいカジキを！」
本社の地下にあるレクサスLFAを前に、私は「種村さん、私もあと10年でこういう本社をもてるようになって見えますよ」と言うと、「あなたはまだまだ若いから。ウチやトヨタのような高い技術力を持った会社と付き合いなさい。これからはそ

ういう時代だ。」と応じてくれた。自分で会社を興し、成功して、遊びにも真剣に取り組む種村氏に会うことができて本当に嬉しかったし、このようなエネルギーを本誌を通して増やしていきたいと改めて思った。知り合いの経営者にもぜひ紹介したいし、種村氏のコアをもっと多くの人に伝えたいと心から感じたインタビューだった。

「もっと大きいのを釣りたいね！」
70本ものカジキを釣りあげてなおアグレッシブでチャレンジングな種村氏。別れ際の言葉にも衰えぬ「ベンチャー魂」を感じた。

「もっと大きいのを釣りたいね！」
70本ものカジキを釣りあげてなおアグレッシブでチャレンジングな種村氏。別れ際の言葉にも衰えぬ「ベンチャー魂」を感じた。

【種村良平氏 釣果リスト〈ポーター 45 購入以降〉】

DATE 釣日	PLACE CAUGHT 海域	W.T 水温	SPECIES 魚種	WEIGHT 重量	LINE ライン	BOAT 船名	OWNER オーナー	CAPTAIN キャプテン	ANGLER アングラー	LEADER リーダー	GAFF ギャフ	FISH NO.
2007年6月17日	伊豆半島下田沖10マイル(アオネ南西)	24.5℃	マカジキ	25.6kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	種村良平	赤澤雅行	仲谷章市	07/01/042
2007年6月17日	伊豆半島下田沖10マイル(アオネ南西)	24.5℃	マカジキ	29.6kg	80LB	コアドリーム	種村良平	赤澤雅行	石井新己	宮内健吉	仲谷章市	07/02/043
2007年7月29日	伊豆諸島大島千波崎東南東5マイル	26.8℃	クロカジキ	86.6kg	50LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	石井新己	仲谷章市	種村良平	07/03/044
2007年8月26日	伊豆諸島大島千波崎南西3マイル	28.3℃	クロカジキ	93.8kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	関昭弘	仲谷章市	種村良平	07/04/045
2008年4月27日	伊豆諸島新島西3マイル	21.6℃	マカジキ	56.2kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	種村良平	仲谷章市	宮内健吉	08/01/046
2008年7月23日	伊豆諸島利島北西5マイル(ウドマアウセ)	29.2℃	クロカジキ	107.6kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	石井新己	仲谷章市	種村良平	08/02/047
2008年7月27日	伊豆諸島利島北西5マイル(ウドマアウセ)	28.8℃	クロカジキ	100.4kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	石井新己	宮内健吉	仲谷章市	08/03/048
2008年8月9日	伊豆諸島式根島西8マイル(ヒョウタン)	28.8℃	クロカジキ	132.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市	種村良平	08/04/049
2008年8月10日	伊豆諸島式根島西8マイル(ヒョウタン)	28.8℃	クロカジキ	140.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	種村良平	仲谷章市		08/05/050
2008年8月16日	伊豆諸島三宅島三本岳西5マイル	30.0℃	クロカジキ	149.2kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市	種村良平	08/06/051
2008年8月17日	伊豆諸島三宅島三本岳西5マイル	29.8℃	クロカジキ	128.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	三重野雅	本田寿浩	仲谷章市	08/07/052
2008年8月24日	伊豆諸島式根島西8マイル(ヒョウタン)	26.8℃	クロカジキ	132.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市	種村良平	08/08/053
2008年9月6日	千葉県房総半島千倉沖8マイル	28.9℃	クロカジキ	133.2kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市	種村良平	08/09/054
2008年9月7日	千葉県房総半島千倉沖8マイル	28.3℃	クロカジキ	123.2kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市	種村良平	08/10/055
2008年9月7日	千葉県房総半島千倉沖8マイル	28.8℃	クロカジキ	137.2kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市	種村良平	08/11/056
2008年9月15日	伊豆半島下田沖10マイル(イカ場)	26.8℃	クロカジキ	92.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市	種村良平	08/12/057
2009年8月15日	伊豆諸島大島波浮南東15マイル(大室ダシ)	27.8℃	クロカジキ	82.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	種村良平	仲谷章市	本田寿浩	09/01/058
2009年8月16日	伊豆諸島三宅島阿古沖2マイル	28.2℃	クロカジキ	100.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	塚田裕二	仲谷章市	仲谷章市	09/02/059
2009年8月23日	伊豆諸島三宅島三本岳東1マイル	28.5℃	バショウカジキ	22.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市		09/03/060
2010年7月18日	伊豆諸島三宅島三本岳西5マイル	28.3℃	クロカジキ	75.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	種村良平	本田寿浩	仲谷章市	10/01/061
2010年8月22日	伊豆諸島三宅島三本岳西5マイル	28.8℃	クロカジキ	125.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市	種村良平	10/02/062
2010年8月22日	伊豆諸島三宅島三本岳西5マイル	28.8℃	クロカジキ	215.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市		10/03/063
2011年8月21日	伊豆諸島三宅島三本岳西2マイル	29.3℃	クロカジキ	140.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市	島山章	11/01/064
2011年8月27日	伊豆諸島三宅島三本岳西2マイル	28.1℃	クロカジキ	100.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	菅祐治	本田寿浩	仲谷章市	11/02/065
2013年7月28日	伊豆半島下田沖南東8マイル(イローアウセ)	27.0℃	マカジキ	推30.0kg	50LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	種村良平	仲谷章市	宮内健吉	13/01/066
2013年7月28日	伊豆半島下田沖南東10マイル(トンガリ)	28.2℃	クロカジキ	推120.0kg	50LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市	塚田裕二	13/02/067
2013年8月4日	伊豆諸島三宅島三本岳西5マイル	28.3℃	クロカジキ	98.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	種村良平	本田寿浩	仲谷章市	13/03/068
2013年8月10日	伊豆半島下田沖南東9マイル(イローアウセ南)	28.0℃	クロカジキ	127.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市	種村良平	13/04/069
2013年8月25日	伊豆諸島式根島西8マイル(ヒョウタン)	25.2℃	クロカジキ	108.0kg	80LB	コアドリーム	種村良平	宮内健吉	本田寿浩	仲谷章市	種村良平	13/05/070

女性の、女性による、女性のためのポーナムって何？

PONAM of the woman, by the woman, for the woman!

仲間や愛犬とともにマリンライフを満喫されている澤村里麻さん。新西宮ヨットハーバーでのインタビューでは、ラグジュアリーでオシャレな船内や紫外線対策など、まさに女性のためのポーナムの将来像が目に浮かび、女性のマリンライフの新しい未来を予感させた。



フライブリッジのあるポーターナムとの出会い

日本ではまだまだ女性のクルーザーオーナーは少ないため、里麻さんのような女性のポーターナムオーナーにインタビューできることは、本誌にとっても願ったりの機会だと思っていた。

4匹の愛犬とともに新西宮ヨット



ハーバーに現れた里麻さんとのインタビュは、ハーバー内のレストラン「フリアンデイズ」で食事をしながら和気あいあいと進んだ。

里麻さんが保有するクルーザーは、2年前に購入したというポーターナム28G II。

「友だちにクルーザーに乗せてもらったときにすごく気持ちいいって思ったんですよ。それで主人と一

緒に船舶免許を取ったんですが、そのときに教習で乗ったのがポーターナムだったんです。フライブリッジがあるポーターナムを買いおうと二人で決めました」。これがポーターナムとの出会だった。

ペットとともに楽しむマリナライフ

「夏になると、毎週マリナに行っ



て、仲間どうしでマリナライフを楽しんでいます」と語る里麻さんは、クルージングはもちろんジェットバイクも楽しんでいる。

「小豆島には、ペットと一緒に泊まれるペンションがあるんですよ。愛犬と一緒にそこまでクルージングして、ゆったりとした余暇を満喫するのも最大の楽しみですね」。

「大切なペットと海を楽しむ」とい



うライフスタイル。これは私にとって新しい発見だった。

実際には、ポーターナム28G IIはご主人が所有しているが、船には「Rima」という名前が付けられていて、二人の仲睦まじさを象徴しているなと感じた。

より充実した「マイスモールハウス」へ

今でも十分にマリナライフを満喫されている里麻さんは、もっと充実した時間を過ごすためにさまざまなアイデアを語ってくれた。

「美しい流線形でラグジュアリーなサロンクルーザーもいいですよ。船内の設備も、湯沸かし器とか、ロッ

カーとか、ハンガーがかけられるところとか、もっと充実するのいいと思います。それからお手洗い。部屋を少し狭くしてでも、清潔で広々としたお手洗いがあると、女性としては嬉しいですね」という里麻さん。ポーターナムというひとつの居住空間をもっと満喫したいという思いが伝わってくる。

「クルーザーは夏に乗ることが多い

ので、やっぱり紫外線が気になります。友人を誘うときは特にそうですね。なので、紫外線を気にしなくてもいいような、紫外線を防いでくれる設備があるといいなあとと思います。たとえば、女性用の鏡があるだけでもUVカットクリームを塗るときに便利だし、他にもちよつと髪をとかしたり化粧を直したりするのにも重宝すると思うんですよ」。

なるほど、まさに女性ならではの視点だなと思ったが、それ以上に仲間どうしで海を楽しんでいる里麻さんだからこそ、仲間を思いやる優しさが感じられて、里麻さんの人柄にとても好感を持った。

左頁写真上から順に / 澤村家が誇る愛艇 Rima 号。ロゴが可愛い / 取材撮影に積極的に応じてくれた里麻さん。出身はミナトヨコハマ / 休日にはボート仲間と海にくり出して遊ぶことがいいリフレッシュとなっている / お気に入りの Rima 号に乗ってご機嫌の里麻さん / Rima 号全景。次のターゲットは「もちろんポーターナム 35 です！」



クルーザー旅行という 新たな楽しみ方

「愛犬たちと一緒に暮らすクルーザーで旅行がしたいですね。ポーターナム35にすれば移動できる距離も長くなると思いますし、食料を積んでクルーザーで海の料理を楽しみながら、ゆったりと敵島神社までまた行ってみたいですね」と里麻さんは今後のマリナライフの希望を語ってくれた。

このようなクルーザー旅行をするには、ポーターナムはまさにうってつけだと思ふ。世界でも高い燃費性能を誇る車を作っているトヨタだけあって、ポーターナムも他のクルーザーに比べて燃費性能が高い。今後、さらに燃費が向上すれば、里麻さんが語ったようなクルーザー旅行というライフスタイルも定着するのではないかとワクワクしてしまつた。

「これぞポーターナム!と思うのは燃費の良さですね」。よく乗っているから実感できる。ポーターナムの強みはここにもある。

写真上/ 里麻さんとご主人の貴明さん(左)。貴明さんは趣味も多彩。クルーザーの他、クラシックカーの話題にも事欠かないエネルギーな方だった。里麻さんの右にはクルーザー仲間の中井通明さん。ワンチンは左からカブリ、ジュリア、えらん、ポーターナム、の6人家族。

写真下/Rima号正面から。クルーザーが大きくなっていても、Rima号の名前は永遠に続くだろう。



夢を形のあるものにする 人生にしたい

「夢を形にするというのが私たち夫婦のモットーなんです。だから、将来60歳になったときに50フィートのクルーザーでより遠くまで旅行に出

かけたりしたいと思っています」と、夢を語る里麻さん。

「まずは次にポーナム35ですね」と私がふると、同席してくれたご主人が「ポーナム以外は買わないってきかないですよ」と。

女性ならではの意見が次々に飛び

出してくて、終始楽しみながら臨めたインタビューだった。女性の視点を取り入れるポーナム。素敵なことじゃないか。里麻さんのようなオーナーが増えてくれば、日本のマリンライフの幅ももっと広がっていくに違いない。

「ポーナム女性オーナーが集まる女性だけのマリンライフ。
将来ぜひ！と思っています。」



【取材協力】

■レストラン フリアンディーズ

日本の豊かな四季が育んだ季節の素材にこだわり、素材本来の味を引き出したシェフ自慢の創作イタリアンが堪能できるフリアンディーズは、美しい大阪湾を目の前にしながら、ウッドデッキテラスで恋人や家族といつもとは違った特別な時間を過ごすのに最適なレストランだ。

営業時間／9:00～20:00 ラストオーダー 19:30

(ランチタイム 11:00～14:30)

定休日／火曜日

お問合せ／Tel：0798-34-9787

所在地／新西宮ヨットハーバー センターハウス1F



【撮影協力】

■新西宮ヨットハーバー

大阪や神戸市内から高速で30分、神戸空港や大阪国際空港（伊丹空港）からもアクセスが抜群な都市型マリーナ。美しい大阪湾に面し、ワンデイクルーズが楽しめる淡路島や、南の紀伊水道、鳴門海峡などクルージングやフィッシングが楽しめるスポットが満載。関西フローティングボートショー、南紀ビッグファイトトーナメント（フィッシング）、クリスマスイルミネーションなど、年間を通してさまざまなイベントが開催され、充実したマリンライフを楽しむことができる。

〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 4-16-1

TEL：0798-33-0651

FAX：0798-33-2411

Web：http://www.sinnisi-yh.co.jp/



笑顔弾け飛ぶ！ FUN! SMILE! CRUISE!

TOYOTA MARINE PREMIUM CRUISE

2013.8.3 at LAGUNA GAMAGORI



まばゆい真夏の日差しの中、ラグーナ蒲郡で開催された試乗会「トヨタマリンプレミアムクルーズ」。クルージング、トークショー、LFA同乗体験と、驚きと興奮がちりばめられたイベントだった。

興奮へといざなう 三河湾クルーズ

6隻のボートが次々に出航していく。しばらくして三河湾に出ると、徐々に速度を上げていき、心地よい風と波しぶきに参加者の顔から自然と笑顔がこぼれた。

ところどころにクルマを積み込むための巨大な輸送船が停泊していて、その圧倒的な迫力に思わず写真を撮る人も。

レクサスの生産で有名な田原工場を過ぎると、クルーザー6隻によるスラローム走行が行われた。広い海原を複数のクルーザーで疾走するさまは、あたかもレースをしているかのような興奮を感じさせてくれる。

スラローム走行の興奮冷めやらぬ中待っていたのは操船体験だ。興奮はさらに高まっていき、操縦席に座りハンドルを握る表情には、誰もが童心に返ったような楽しげな笑顔が浮かんでいた。

クルージングを終えて桟橋へ戻ってきた参加者たちの表情は一様に満足感にあふれていた。

LFAの重低音が駆り立てる期待感

イベントの最後には、豊田社長の運転によるLFAの同乗体験も行われた。エンジン音を響かせて走り去っていくLFAは、クルージングとはまた違った快適さや興奮を参加者にもたらし、わずか5分程度の同乗体験にもかかわらず、LFAを降りる方たちの顔には今回のイベントに対する充実感に満ちていた。





実際に乗ってみると
興味がわいてくる

クルマだと道路があるところしか進めないけれど、クルーザーはどこへでも好きなように行けるのが気持ちよかった。

今までクルーザーに試乗したことはなかったけれど、実際に乗ってみると興味がわいてくる。その気はなかったけど、クルーザーが欲しくなってくるね。

マリナーの雰囲気も優雅さがあってよかった。レストランからの景色もよかったし、料理もおいしかった。トークショーでは豊田社長がいきなり出てきてびっくりしたけど、とても面白い話が聞けて、充実した一日だった。

VOICE



船舶免許を取ってみたい

ソファなどのインテリアはとても上質感があつてよかったです。船内も広々としていて、ゆったりとくつろぐことができました。

クルーザーを運転するのは初めてだったけれど、ハンドルを少し切っただけでも曲がるくらい、操作はとてもスムーズでした。

船舶免許を取るのは大変なんだろうなと思っていたけれど、3日で取れるのなら取ってみたいと思いました。

きっと、ポーターがとても操作しやすかったからそう思ったのだと思います。

VOICE

VOICES OF GUEST

VOICE

セカンドハウスとしても
利用できそう

非常に操縦しやすかった。操縦席のパネルもわかりやすく、これなら外洋にでも安心だし、遠くまで行ってみたくなったね。

中でもジョイスティックはすごいね。こんなに簡単に離着岸ができるのかと驚いた。走りも滑らかで快適だし、昔クルーザーに乗ったことがあるけど、数年前とは全然性能が違うね。

それに、インテリアにもこだわっていて、高級感のある内装だから、クルージングを楽しむだけじゃなく、マリナーに置いてセカンドハウスとして利用するのもいいかもね。



VOICE

スピードを出したときの
ワクワク感

クルーザーに乗るのは初めてでしたが、とても気持ちがよかったです。ゆったりとしたクルージングも快適でしたが、スピードを出したときのワクワク感はすごかったです。スラローム走行をしたときのスピード感には特に興奮しましたし、その時の波の感じもダイナミックで、心から楽しむことができました。こんな体験をさせてもらって本当に感謝しています。



VOICE



Talk Show

木下 隆之 × 豊田 章男

レーシングドライバー

トヨタ自動車 (株)
代表取締役社長



壇上に上がり、和やかなムードでトークショーに臨む豊田社長（右）と木下氏（左）。豊田社長のサプライズ登場に興奮冷めやらぬ中、LFA や PONAM についての貴重なトークが始まり、会場に集まった観客を魅了した。

クルマも人も鍛えられた LFA 開発

驚きの表情と割れんばかりの拍手の中、数多くのカメラの先に現れたのはサプライズゲストの豊田社長だった。美しいオーシャンビューのレストラン「カーザ」に設えられたステージに迎えられ、レーシングドライバー木下隆之氏とのトークショーが始まった。

トークテーマは LFA 開発とポナム 35。木下氏は 2007 年から LFA 開発に携わり、その一環として共に世界で最も過酷と言われるニュルブルクリンク 24 時間レースに参戦した間柄でもある。ニュルブルクリンク 24 時間レースは、狭くうねったコースで天気によって表情を変えるため、経験があるからと言って勝てるレースではない。

しかし、だからこそ完走するためにどうしたらいいのか、常に悩みながら答えを導きだしていくことで、スタップひとりひとりのスキルアップにも繋がった。このような他ではなかなか得られない経験を他の開発にも生かしているからこそ、トヨタは世界トップクラスのクルマを常に生み出すことができている。

日々潤いを与える「非日常」体験

クルマの開発で得られたさまざまなノウハウはポナム 35 にも確実に活かされている。

これまでにジェットバイクやクルーザーに親しんできた木下氏さえ難しいという離着岸時の操船も、ジョイスティックなら簡単にできてしまう。インテリアも今までのクルーザーにはない高級感で溢れている。

ポナムを通して二人が共通して語ったことは、マリンライフによる非日常の世界を楽しんでほしいということ。ジョイスティックのような最新技術や先進的なデザインで造られたポナムは、間違いなくそのような「非日常」の世界を楽しむためのハードルを下げることに貢献している。

実際にクルージングを体験した参加者からは、ポナムに対する確かな信頼と期待感が伝わってきた。



BATHROOM
SYNLA



美しい時間がはじまる。

TOTO

お客様相談室 0120-03-1010 (9:00～17:00 夏期休暇・年末年始を除く) URL: www.toto.co.jp

FOR ASIAN DEALER

大切なビジネスパートナーをもてなす

トヨタポーターナムの底力

2013年、ラグーナ蒲郡で行われた、海外VIPのためのクルージングイベント。三河湾のクルージングだけでなく、レーシングカーのドライビング体験など、トヨタならではの「おもてなし」がふんだんに盛り込まれた一日となった。

GAZOOレーシングのレーシングカーの前で、トヨタの驚きと感動に満ちた「おもてなし」に心より満足した表情を見せるアジアのディーラーたち。豊田社長を囲んで、写真左から和泰汽車（台湾）ジャスティン・スー社長、TMP（フィリピン）アルフレッド・ティ副会長、ジャーデイン社（香港）ベン・ケスウィック社長、中興集団（中国）ファン・イー会長、トヨタカローラ徳島株式会社 北島義貴社長。



大きな拍手に迎えられて登場する豊田社長。これから披露される華麗なドリフティングに海外VIPも興味津々だった。（本誌編集長）

驚きと興奮に満ちた、トヨタのおもてなし

2013年9月。愛知県のラグーナ蒲郡には海外から来賓の顔ぶれがあった。いずれもアジアの大物といつていい。

大切な海外のビジネスパートナーのためにトヨタが用意したものは、田原工場のテストコースでのレーシングカー試乗体験、三河湾のクルージング、そして料理やシャンパンなどによるおもてなしだ。

そのどれもが、驚きや興奮に満ち溢れていた。田原工場のダートコースで披露された、豊田氏の華麗なドリフトテクニク。国内外の様々なレースに参戦している豊田氏の腕前



に、賞賛の声が上がる。

三河湾のクルージングでは、田原工場からラグーナ蒲郡までの単なる移動ではない、ひとつのマリナクティビティを提供する。海原を豪快に走行するスラローム走行は、彼らに大きな興奮を与えていた。

そして、ボート上では、シャンパンやケータリングでリラックスした楽しいひととき。

クルマにクルーザーにグルメと、まさにトヨタとラグーナ蒲郡の良さを余すことなく提供し、最上級のもてなしを彼らに提供していた。

言い換えれば、それはトヨタの「余裕」。守備範囲の広いトヨタのいい意味での余裕だ。トヨタがクルマについてもクルーザーについても、より新しく、より高品質な製品を世に送り出し続けているからこそなせることである。

招待された人たちの表情をみればそれは自明の理。レーシングカーの試乗でも、クルージングでも、料理でも、常に笑顔が絶えず、満足した表情を浮かべている。

そして、このような、人々を喜ばせたいという気持ちで、トヨタの製品の品質を支えている確かな根拠のひとつになっている。

DRIFTING

土埃と歓声を上げさせる スピリタール

広大な敷地面積を誇る田原工場。レクサスやランドクルーザーを中心に生産しているこの工場で、レーシングカーの試乗が行われた。

テストコースには、Gazoo Racingのレーシングカーが置かれていた。そこに颯爽と登場したのはレーシングスーツに身を包んだ豊田章男氏だ。「田

原工場へようこそ！君たちのお父さんには私もいろいろなことを教わった。今日は私が教える番だよ」。

洒落つたつぷりの挨拶もそこそこにレーシングカーに乗り込むと軽快にドライバーコースへと入っていく。さまざま

レースに参戦している豊田氏の腕前はもはやプロ級。土埃を豪快に巻き上げながらの迫力のあるスピリタールにVIPからは惜しげもなく歓声上がる。

見事なドライビングを終えて戻ってきた豊田氏をVIPたちは拍手喝采で迎えた。

「Very good！大満足、すごいドライビングテクニックだね」。

次はVIPがドリフティングを体験する番だ。ヘルメットを着用した表情に

は、豊田氏が披露したような素晴らしいドライビングを自分たちも行えるのだというワクワク感で自然と笑顔が浮かんでいた。



CRUISING

美と興奮を生み出す スラローム走行

田原工場でのドライビング体験を終え、桟橋へと向かうVIPは、クルージングをとても楽しみにしていた。

彼らが乗り込んだクルーザーはモリゾー号。船体にモリゾーのイラストが描かれ、木目調の船内が優雅な印象を与えてくれる。

3艇のボーターが三河湾へと進んでいく。はじめはゆっくりと、湾の景色を楽





しむように進む。中には操舵席に興味津々で、計器などを熱心に観察している方も。

やがてポーナムのエンジンが徐々に唸りを上げていく。3艇が並行に、まるで美しいダンスを踊るようにスラローム走行を行っていく。右に左に舵を切るたびに、青い海原のキャンバスの上に白い波の美しい曲線が描き出されていく。

スピード感溢れるスラローム走行と、ポーナムが描き出す波の美しさに、VIPたちの興奮も最高潮に達した。

スラローム走行を終えると、いよいよ目前にラグーナ蒲郡が見えてくる。ハーバーの脇を通り、栈橋に到着すると、V

IPからは充実した満足感が満ち溢れていた。

クルーザーを降りて栈橋が上がっていると、そこには田原工場のテストコースで乗ったレーシングカーがVIPたちを迎えていた。このにくい演出に驚くと同時に、彼らは嬉しさを湛えた表情をしていた。

アジアの大物たちが豊田社長と一緒にとった「YEAH」ポーズの写真をみれば当日の盛り上がり方も想像できよう。

PARTY

ポーナムに シャンパンを添えて

クルーザーのデッキでさやかなシャンパンを振る舞う。普段海外で過ごして

いる彼らにとつてはごく当たり前の光景なのかもしれない。シャンパングラスを片手に、とてもリラックスした表情だった。

た。

とはいえ、違和感なく見えるのは、それがポーナム35だからだろう。洗練されたデザインのポーナム35が、木目でさらに化粧を施してあることで、デッキでのそんなひとときも映えるというものだ。

「エンジンだけではなく、ボート全体がすばらしい」と驚くのももっともかもしれない。トヨタと言えば世界に冠たる自



動車メーカーだ。そのトヨタが作ったクルーザーということで、エンジンに目がいくのも無理はない。しかし、そこだけで終わらないのがトヨタでありポーナムだ。

日本のクルーザーでは、船内でシャンパンを楽しむような、大切な方々をもてなすことができるものは数少ない。

大切な得意先やビジネスパートナーをもてなす機会が多い経営者の方にとつて、ポーナムは最も適したクルーザーだ。今回トヨタが海外VIPをもてなしたように、船内やデッキで得意先やビジネスパートナーと共に、おいしい料理やシャンパンを囲み、特別なひとときを過ごせば、どんな方からも喜ばれるに違いない。

次回試乗会イベント2014年3月16日開催決定！

PONAM35 TEST CRUISE REPORT

TOKYO BAY SIDE PREMIUM CRUISING
2013.10.20 at Crystal Yacht Club

最初は緊張していた試乗会参加者も次第に和やかなムードに。トヨタスタッフのおもてなしに全員リラックスした雰囲気になっていった。ファミリーになれる瞬間を提供できるのもポナーナの最大の魅力のひとつだ。



体験しなきゃわからない！

新しい友達と 盛り上がる ポナーナクルージング

あいにくの雨の中にもかかわらず、東京品川のクリスタルヨットクラブで行われたクルージングには多くの参加者で溢れていた。皆、この日のクルージングを心待ちにしていたというような、期待に満ちた表情だった。

独特の雰囲気にも包まれた、雨の中のクルージング

雨の東京品川クリスタルヨットクラブ。その待合室には、天候とは裏腹にたくさんの参加者の姿があった。柔らかな椅子に腰を下ろし、出航を待つ人々の嬉々とした表情には、雨をはねのける期待感が満ちていた。

初めてクルージングを体験される方もいて、序盤は少しばかり表情に緊張の色が見て取れたが、それも徐々に東京湾を進んでいくにつれて柔らかくなっていった。

洗練されたキャビンのソファでくつろぎながら、トヨタのスタッフの言葉に耳を傾ける。自動車メーカーならではのエンジン、アルミハルやジョイスティックなど、スタッフの

説明に参加者の口からは驚きや関心の言葉が幾度も漏れていた。ギャレーやシャワー室などの充実した設備を見た参加者からは「生活できそう」との声も。

人と人との距離を縮める特別な空間

ボート35の素晴らしさは、何も性能やインテリアだけではない。その最たるものは、ボート35の特別な空間がもたらす空気そのものだ。

キャビンのソファでくつろぐ参加者たちは、クルージングが始まった当初とは打って変わって、次第にあたかもお互いのことをよく知る友人であるかのように和やかなムードの中で談笑するようになっていた。

ある参加者がクルーザーについて疑問に思ったことを口にすれば、別の参加者がその疑問に丁寧に答える。誰かが長くクルーザーに親しんでいなければわからないような貴重な知識を話し始めれば、他の参加者たちはその話に熱心に聞き入っていた。

「まずは何人かのオーナーで共同購入したらしい」という意見も。

短時間で人と人との距離を縮めることができる環境というのは、そうはないだろう。また、クルーザーならどんなものでもいいというわけでもない。それはまさしくボート35というクルーザーが提供する特別な空間、特別な時間があつたからこそだ。それを作り出せるのは、上質な船内空間に、安定性の高い性能を併せ持つボート35ならではといっている。

プライベートで恋人や友人とより親密になりたいというときだけではなく、ビジネスにおいて新たなパートナーや顧客をもてなす上でも大きな効果があることが証明された形となった。

ハンドルを握ることで伝わるもの

クルージングの終盤には操船体験も行われた。操縦席に座る参加者は





免許がなくても海に出れば操船体験ができることもポーナムクルージングの大きな特徴の一つ。操船そのものは初体験の参加者が多いが、一度舵をとれば「すごい！」を連発する貴重な体験ができる。もちろん写真の女性も操船初体験。

真剣そのもので、また、心から楽しんでた。

雨の影響で視界が幾分不明瞭であつたが、舵を切る参加者はそのように些細なことは気にならないという様子だった。むしろ、雨という環境の中での操船が、適度なスリルを生み参加者たちを楽しませてくれたのかもしれない。波を切る瞬間や、舵を大きく切った瞬間には、操縦席の周りにいた人々から歓声が上がっていた。

クルーザーの操船に限らず、見たり聞いたりするだけではなく、実際に自分の体を使って体験するということは、本当に多くのことを教えてくれる。ポーナム35はアルミハルを採用していることで、揺れが少なく非常に安定したクルーザーだ。しか



し、言葉で説明されるより、実際に自分で操船したほうが、その性能の高さを直に感じる事ができる。

「クルマとちがつて、遠くのビルや橋などを目印に方向を決めなくてはならないから、実際にやってみると意外と難しい」

このような感想からもわかるように、体験してみなければ理解できないこともある。

クルージングを終えた後のアンケートでも、操船体験が一番面白かったという感想を残している方が多く、参加者にとって実際にクルーザーを操るといことが、とても大きな経験であつたことが伺える。

ぜひ、次回の試乗会にご参加を！

まだあまりクルーザーに乗ったことがないという方には、ぜひとも試乗会に参加し、直にポーナムに触れていただきたい。

そうすれば、間違いなくポーナムの魅力を肌で感じる事ができるだけでなく、その時に同乗した人たちの新たな出会いが待っているはずだ。

次回の試乗会の申し込みの詳細は34〜35Pをご覧ください。





沖に停めたクルーザーで音楽を楽しみたい

プリウスみたいに、ポーターも早くハイブリッドクルーザーになってほしいね。そうなら燃費も良くなるし、環境にも優しいクルーザーになると思う。

音楽を聴くのが趣味だから、沖までクルージングして、沖に停めたクルーザーで音楽を楽しんでみたい。ポーターにはバーチャルアンカーシステムがあるから、沖に停めていても安心できる。

BOSEなどの音響設備が備わっているといいね。スピーカーなどの音響機器で、音は全然違うから、洋上で最高の音響機器で聴く音楽はきっと素晴らしいと思う。

共同購入から初めてみるのもいい

クルージングはテンションが上がるし、ストレス解消にもなる。余暇の楽しみのひとつとしてすごくいいと思う。マリーナだけじゃなく、もつといるところなどにクルーザーが停められるようになったら、このようなクルージングの機会も増えていいと思う。

十分な設備が整っているし、内装も落ち着いた雰囲気だから、マリーナに停めて別の住居としても利用できそう。最初はオーナーを募って、何人かで1台のクルーザーを利用するのがいいかもしれない。その方がクルーザーを十分に活用できると思う。



VOICES OF GUEST



ポーターは安定性の高いクルーザーだと思う

造りがとてもしっかりしていてよかったです。雨の中のクルージングでしたけど、思っていたよりも全然揺れなくて、ポーターは安定性の高いクルーザーだと思います。

中也落ち着いた雰囲気、リラックスできたし、ソファのデザインや座り心地もとてもよかった。上の操縦席で、夏場に海風を感じながらクルージングしたらきっと気持ちいいと思いました。

ジョイスティックの機能は驚きでした。スティックを動かすだけで、細かくクルーザーを動かせるというのはすごいと思います。



移動別荘としてもよさそう

最近船舶免許を取ったばかりで、クルーザーにすごく興味を持っていたから、今日のクルージングはとても楽しみにしていた。

このクルージングコースは知っているの、逆に雨のときにクルージングが体験できて楽しかった。

上の操縦席もよかったし、ソファやキッチンなどのインテリアもおしゃれで充実していてすばらしい。クルージングやマリンスポーツを楽しむのもいいけれど、これだけ設備が整っていると、移動別荘としてもよさそう。3日間くらいなら問題なく生活ができそう。

乗れば誰もが笑顔になる！ 体感試乗会 クルーズ～

乗らなきゃはじまらない！

クルーザーに興味があるけどなかなか乗る機会がない、以前他のクルーザーに乗ったけどイマイチだった、最近船舶免許を取ったのでいろいろなクルーザーを乗り比べてみたい、などという方々にとって、この「PONAM 体感試乗会」はまさに最適！

迫力のあるレインボーブリッジや東京ゲートブリッジ、美しい空を離発着するジャンボジェット機など東京湾クルーズは見どころがたくさん。

本誌に掲載しているどの試乗会でも、参加者の表情には驚きと笑顔があふれ、楽しく充実した時間を過ごしていました。「私も、PONAMの素晴らしさを何度も体感させてもらいましたし、今から試乗会に参戦するのが本当に楽しみです！」（本誌編集長）

次はぜひ、ご自身の体全てでPONAMを体感してみてください。きっとPONAMの良さを十二分に感じる事ができるはずです。





本誌編集長も参戦！

PONAM ～東京湾

参加者大募集！

参加のお申込み・お問い合わせは下記 Web サイトまで
<http://cruiser.jp/>

【開催概要】

名称：PONAM 体感試乗会 ～東京湾クルーズ～

主催：トヨタ自動車株式会社 新事業統括部 マリン事業室

協力：株式会社ルート・アンド・パートナーズ

開催日時：2014 年 3 月 16 日（日） 10:00 ～ 16:00

※午前、午後の 2 回開催

会場：クリスタルヨットクラブ

〒140-0002 東京都品川区東品川 2-3-16 シーフォートスクエア 1F

募集人数：1 回あたり最大 5 組 10 名程度

備考：応募者には詳細を個別にご連絡致します。





松田 功

トヨタ自動車株式会社
新事業統括部 マリン事業室
トヨタマリン営業所
サービスチーフ

オーナーとの信頼関係が支える ポーナムの安全性

顧客を信用することが第一

西日本地区でポーナムのアフターサービスや修理に携わってきた松田氏の言葉で特に印象的だったのは、「顧客を信用することが第一なんです」というものだった。

松田氏は現地現物、迅速、直接対話を、アフターサービスや修理をする上での3本の柱としている。

「自分の名刺には携帯電話の番号を載せていて、常にオーナーからの依頼に対応できるようにしています」。

一見簡単なことのように思えるものの、小さな配慮が、迅速なアフターサービスや修理対応に対する信

頼を生んでいる。

「オーナーから依頼を受けてポーナムを見に行ったとき、不具合が見つからないこともあります。そういうときは必ずオーナーともう一度じっくり話をします。不具合が生じた時のシーンを100%理解するためです」。

スペシャリストになればなるほど、自分の知識が技術に奢りがちになるものだが、松田氏は常に謙虚に、オーナーとの対話を忘れない。だからこそ、ポーナムはいつでも万全のコンディションに保つことができて、いるのだと痛感した。

トヨタマリンスタッフに聞く！ Vol.2

愛艇を影から支えるサービススタッフ

インタビュー・文 増渕 達也（本誌編集長）

現地現物の精神が支える 愛艇との時間

故障を「予防」することが
最も大切

東日本地区で主にアフターサービスや修理を担当している大塚氏。サービススタッフとして日々意識していることは、故障を未然に防ぐためのメンテナンスを第一に考えることだ。

「初回点検をきっちり行うことによって、不具合を消していくことが重要なんです」という言葉からは、常に万全な状態でポーナムを渡したいという思いが感じられる。

それもそのはず。当然、故障になればしばらくの間クルーザーに乗ることはできなくなってしまう。万が一豊富なマリンレジャーが楽しめる夏に故障が起きてしまったら、マリナライフを楽しむことができなくなってしまう。

だからこそ、メンテナンスにあたるときは常に真剣そのものだ。「とにかく足を運んで、現地で見えることを常に意識しています」。

トヨタの現地現物の精神が脈々と受け継がれているようだ。



学生時代、友人とディンギーを楽しむ大塚氏（左）

診断情報の蓄積がもたらす、
高いサービスの質

他にもトヨタならではのものがある。診断情報のデータベース化だ。「販売したポーナムの情報だけでなく、オーナーの保有艇ごとにカルテを作成しています。クルーザーの点検や部品交換の履歴などのデータまで蓄積することで、常にクルーザーの健康状態を把握することができんです。こうすることで、過去の情報を元に診断ができたり、マリーナのメンテナンススタッフなどに的確に指示が出せたりできているんで

修理は情報共有の場

「意識しているのは修理ということではなく、オーナーと情報を共有することです。だから、船の状態を知ってもらうために、修理する箇所だけではなく、壊れていないところもチェックします」。

松田氏がこう語るように、オーナーはメンテナンスや修理のたびに自身のボートの状態をより正確に把握できるようになってくる。オーナー自身が知識を蓄積することは、結果としてボートで安全なマリンスライフを楽しむことに繋がっていくのだ。

アフターサービスから開発へのホットライン

松田氏は修理やアフターサービスの際に気が付いたことやオーナーか



水産学校時代、操船演習での松田氏

らの言葉は必ず開発部門に情報をフィードバックしているという。

「たとえば私の故郷の隠岐の島まで揺れずにかつ高速で行ける船のような、よそにはまねのできない新機能の提案などを開発にフィードバックしています」。トヨタのサービススタッフの強みは洗練された知識や技術だけではなく、開発との強い連携にあるのだと思う。

怖さを知るからこそ伝えられる海との付き合い方

松田氏が安全に対して強いこだわりを持っているのは、海の怖さを知っているからだ。

「子供の頃、父親に海に連れて行ってもらえなかったことがあったんです。そのときは意味が分からなかったんですが、自分の子供を海へ連れて行くようになって、海には楽しさだけではなく怖さもあることに気づきました」。自身の経験とサービスを通して、より安全な海との付き合い方をオーナーに伝えたいという松田氏の思い。そんな印象が深く残ったインタビューだった。

どんな立派なものでも長く使っていると、手入れや補修が必要になるもの。クルーザーも例外ではない。そんなときに頼りになるのがサービススタッフの存在だ。関東と関西を担当する2名のサービススタッフへの取材から、末永く愛艇に乗るためのヒントを探る。

す」。

クルーザーカルテにはもうひとつの利点がある。

「あるクルーザーを診断したときに傷みが見つかった場合、同じような使用状況のクルーザーに対してもすぐに診断やメンテナンスの対応ができています」。

このおかげで、ボートでは不具合や故障が起こるケースが少なく、オーナーからも大変喜ばれている。

少しでも長く愛艇との時間をすごしてもらうために

日を過ごしていた。その後大塚氏はマリナーに勤めることになるのだが、その時の楽しかった思い出が船の世界に大塚氏を導いたのだろう。「自分が学生時代にマリンスライフを楽しんでいたのも、オーナーにもそんな楽しい時間を少しでも長く愛艇と過ごしてほしいと思っています。だから、メンテナンスを常に第一に考えています」。

大塚氏が船の世界に入ったきっかけは、大学時代に友人がディンギー（ヨット）を始めたことだった。昔から体を動かすことが好きだった大塚氏は、思わず共同でディンギーを購入し、夏はディンギーを満喫していたという。卒業後も猪苗代湖や浜名湖へ遠征し、ディンギーと共に休



大塚 昇

トヨタ自動車株式会社
新事業統括部 マリン事業室
トヨタマリン営業所
サービスチーフ

INSET MARINA



Marina Divide vol.2

マリーナ探訪

〈長崎サンセットマリーナ〉

透き通った海に囲まれ、美しい夕日に臨む長崎サンセットマリーナ。長崎の市街地から車で15分、長崎空港から車で45分という好立地に位置し、異国情緒溢れる街並みと、豊富なマリナクティビティで、近年都市圏からのユーザーが増え続けている。



NAGASAKI SU



異国情緒豊かな文化と 美しい自然に囲まれた マリナー

長崎は日本が鎖国をしていた時代に唯一外国に開かれた場所であり、そのため、アジアや西洋からさまざまな文化が持ち込まれた。開国すると、東山手、南山手の丘を中心に外国人居留地が造成されたことで、新たなビジネスチャンスとみたトーマス・グラバーをはじめとする貿易商たちが長崎にやってきた。

彼らが長崎にきたことによって、住居や諸外国の領事館、銀行、洋館などが建てられ、明治期に異国情緒漂う街並みが形成されていった。

これらの文化は今も長崎のさまざまなところに残っており、長崎独特の文化と豊かなマリナライフを体験できるのが、長崎サンセットマリナーだ。

そんな環境に囲まれた長崎サンセットマリナーは、アクセスの良さも手伝って、近年都市圏からのユーズーが増え、熱い注目を集めている。

クルージングにも フィッシングにも 最適な長崎の海

長崎には594もの島があると言われており、そのどれもが豊かな自然の宝庫だ。また、貴重な文化を堪能

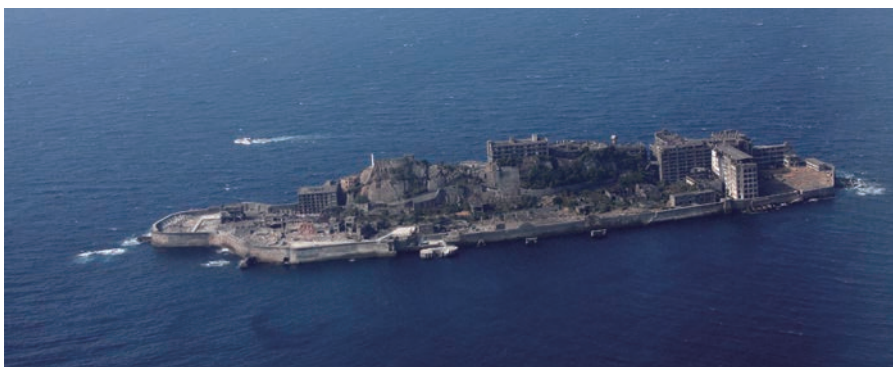
能できる観光スポットでもある。

長崎サンセットマリナーから近い場所にある軍艦島（端島）は、2015年の世界文化遺産登録を目指していることでも注目のスポットだ。

五島列島、天草、九十九島への日帰りクルージングもオススメ。自然海浜や海蝕崖、火山景観など複雑で変化に富んだ地形は、そのほとんどが西海国立公園に指定されており、クルーザーから見ると豊かな自然景観は圧巻。島には今なお多くのカトリック教会が残っており、キリシタンの香りを感ずることができる。

また、長崎周辺の海域は北海道に次いで第2位の漁獲量を誇るエリアで、一年を通じてさまざまなフィッシングを楽しむことができる。特に、五島列島や軍艦島の周辺は「魚の宝庫」とも言われており、釣り好きにとってもたまらない場所である。

長崎は昼だけではなく、ナイトクルージングもオススメだ。2012年にモナコ、香港と共に世界三大夜景に選ばれた長崎。東西の山々に囲まれた長崎港から山頂付近にまで続く美しい明りが夜空に輝く星々と繋がる景色は、自然と人工が織りなす極上の世界だ。その世界を海から眺められるのは、長崎サンセットマリナーを利用するオーナーの贅沢と



写真提供：長崎県観光連盟（一部）



言えそうだ。

豊かなマリナライフを バックアップする 安心のメンテナンス体制

長崎サンセットマリーナでは、豊富な経験と技術を持ったメンテナンスの専任スタッフを置いており、オーナーがいつでもマリナライフを楽しめるように、充実したサポート体制が整っている。

メーカーやメンテナンスの専門業者と連携することで、より高いレベルで安心・安全を提供することが可能だ。

長崎サンセットマリーナのメンテナンスの特徴は、オーナーひとりひとりに寄り添い、より安全に、より快適に、より長くクルーザーに乗っていただくための提案型のメンテナンスである。

クルマのメンテナンスでは常識となっている定期点検「プロケア」や、紫外線や潮風、擦り傷などで傷んだ船体を新艇のように美しく蘇らせる「美Boat」をはじめ、エンジン、電装品、室内清掃、艇体ハル・バフ掛け、艇体の洗浄など、利用頻度やオーナーのニーズをもとに最適なメニューを提案してくれる。

このため、どんなオーナーに

とってもクルーザーを常に最良の状態に維持しておくことが可能となる。このきめの細かいサービスも、ユーザーが増えている理由のひとつだろう。

花火が祝福する 極上のウェディング

長崎サンセットマリーナの魅力はマリナライフだけではない。マリーナの名前にもなっている美しい夕日や、透き通る大海原に囲まれた環境でのウェディングは、式を挙げる二人にとっても、二人を祝福する家族や友人にとっても、記憶に残り続ける極上の思い出になるはずだ。

壮大な海をバックにした写真撮影やガーデンを利用した屋外のバージンロード。極め付きは結婚式のフィナーレを彩る花火だ。

マリナライフに親しんできた方にはクルージングを織り込んだプランがオススメ。これから人生を共に歩んでいくパートナーと一緒に大海原に出ていく様は、まさに二人の未来が自由で無限の可能性に満ちていることを象徴するかのようだ。

大切な人との特別な時間を 演出するレストラン

モダンなインテリアが整えられた瀟洒なレストラン「アズマローレ」。



窓から臨む美しい景色とともに、グランシェフが創り出す絶品料理を堪能することができる。地元長崎の豊かな海の幸をはじめ、恵まれた自然の中で素材本来の味を蓄えた野菜や長崎和牛などをふんだんに取り入れた極上のメニューは、どれも体に優しく、老若男女問わずあらゆる人々から感動と称賛の声が上がる。

もちろん、そこにはグランシェフの妥協を許さない、本物の味への追求もあるが、同時に大切な人との特別な時間を最高の料理でもてなしたいという、おもてなしの心が確かに存在しているからだ。

長崎サンセットマリーナで二人の新たな人生をスタートさせた夫婦が、結婚記念日に再びここを訪れて、当時の思い出に花を咲かせながら特別な時間を過ごすのも、乙なものではないだろうか。

また、オーナー限定でケータリングサービスも行っているため、時には愛艇で極上の料理を味わいながら、また違った時間を過ごすこともできる。

オーナーを飽きさせない豊富なイベントとグルメ

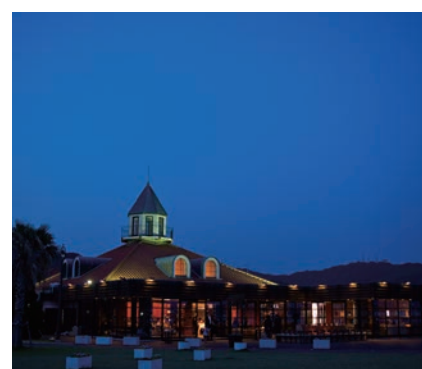
ランタン・フェスティバル、帆船まつり、精霊流し、おくんちなど、長崎は一年を通じてさまざまなイベ



ントが催されている。そんな祭り文化が根付いた場所だけあって、長崎サンセットマリーナでも年間を通じて「釣りダービー」が行われ、オーナーどうしの交流の場にもなっている。また、オーナーズクラブ主催のイベントで、毎月クラブブレースや釣り大会も開催されている。

イベントと同様に欠かせないのがグルメだ。長崎は和・華・蘭の食文化が融合した卓袱料理や、ちゃんぽん、皿うどんが人気だが、実は長崎の黒毛和牛を使った「長崎和牛ステーキトルコライス」という贅沢な一品も生まれている。これは、2012年の第10回全国和牛能力共進会「肉牛の部」で、長崎和牛が内閣総理大臣賞を受賞したことがきっかけで生まれたグルメである。さまざまな文化が融合した長崎では、日々新しい魅力に出会うことができる。

〈取材協力〉
【長崎サンセットマリーナ】
〒850-0068
長崎県長崎市福田本町 1892
TEL : 095-865-3000
FAX : 095-865-2273
Web : <http://www.n-sunsetmarina.com/>



Nishi Fukuoka Marina MARINOA



Marina Divide vol.3

マリーナ探訪

〈西福岡マリーナ マリノア〉

今や西福岡のウォーターフロントの顔となっている「西福岡マリーナ マリノア」。釜山クルージングや玄界灘ビルフィッシュトーナメントをはじめとするマリンレジャーの拠点として、また、都心部に近く、魅力的な観光地やグルメを手軽に堪能できる立地の良さから、近年他県や海外からのユーザーが増えている。

西日本で唯一の 都市型マリナー



玄界灘ビルフィッシュトーナメントスタートの様子。一目散に漁場に急ぐ様子がよく分かる。

愛艇で行く海外旅行という ライフスタイル

マリノアを代表する3大イベントが、釜山クルーズ、玄界灘ビルフィッシュトーナメント、ハウステンボスクルーズだ。

中でも特にオススメなのが、釜山クルーズである。福岡と釜山は直線距離で110マイルと距離的に近く、また、日本と韓国は経済や文化の面でも結びつきが強い。途中に壱岐や対馬があるため、補給や万が一の避難にも安心で、愛艇で行く海外クルーズ先としては最適だ。

もちろんクルージングとしての魅力もある。たとえば、対馬を南北に隔てる万関瀬戸を過ぎ、浅茅湾を抜けるルートでは、海岸線が入り組んだ美しい風景をクルーザーから楽しむことができる。そして何といっても、釜山の高層ビル群や、韓国随一のビーチリゾートが見えてきたときの感動は、ここでもしか味わえない醍醐味だ。



釣り上げたカジキを前にワンショット。最高の思い出になるだろう。



韓国への入国手続きもマリナーのメンバーならスムーズだ。

何度も対馬の出入国手続きを行ってきた経験を持つスタッフもいるため、サポートも充実している。韓国でもボートショーやヨットレースなどの国際的なイベントが開催されており、着実にユーザーが増えつつある。今後は「愛艇で海外旅行へ」というライフスタイルが、新たなマリナーのひととして定着するかもしれない。

シーバスルアーや春秋のアオリイカフィッシングなど、年間を通して釣りが楽しめる博多湾。中でも玄界灘ビルフィッシュトーナメントは今年(2014年)で18回目を迎えるメインイベントのひとつだ。最大の特徴はこの海域は他にはないほど大型のシロカジキが釣れることで、毎

年多くのチームがエントリーし、熱い戦いを繰り広げていることだ。家族連れには、オランダの街並みを存分に味わえるハウステンボスクルーズもオススメだ。

歴史と伝統が色濃く残る街、 福岡

古くからアジア諸国との交易が行われていた福岡。志賀島で見えられた国宝「金印」を見たり、櫛田神社や福岡城跡、鴻臚館跡展示館などを訪れたり、歴史散策ができるのも福岡の魅力のひとつだ。

また、博多人形、博多曲物、博多独楽など、多くの伝統工芸が残っており、「博多町屋」ふるさと館では



愛艇で釜山へ。全員自分のクルーザーで入国する。



福岡市中心から程近い、めずらしい都市型マリナーだ。

博多人形や博多織の実演を見学することもできる。

福岡ならではの観光を楽しめるのも、都心部に近いマリノアならではの大きな利点だ。

〈取材協力〉
【西福岡マリナー マリノア】
〒819-0001
福岡県福岡市西区小戸 2-11-1
〈代表〉
TEL : 092 885 2288
FAX : 092-885-2289
〈ハーバーハウス直通〉
TEL : 092 885 2282
FAX : 092 885 2291
Web : <http://www.marinoa.co.jp/>

記念日を極上のイタリアンと奏でる

Cruiser Anniversary



湘南の海を臨む 本場の絶品イタリアン

暖かな太陽の光が降り注ぐリビエラ逗子マリーナが誇るイタリアンレストラン「リビエラグランブルー」。豪華客船を思わせるエントランスへと続く棧橋を渡ると、暖かな木目調のインテリアが作り出す落ち着いた空間が迎えてくる。

店内からは美しいオーシャンビューと、海の先にそびえる富士山を目にすることができる。

優雅で落ち着いた空間で振る舞われるのは、本場イタリア・ペルージャのレストランで修行を積んだシェフによる「イタリアの郷土料理」。地元湘南で取れる豊富な海の幸や、契約農家から直送される安心で質の高い野菜をふんだんに使用したアレン



Gastronomy Cruising

クルーザーで行くレストラン Vol.2

リビエラ逗子マリーナ 「リビエラグランブルー」



ジ料理が自慢だ。

また、リビエラグランブルーの特徴のひとつであるテラス席は、心地よい潮風を感じることができる。もちろん大人のバータイムもオスス。ペットの同伴も可能なため、愛犬などと一緒にくつろぎの時間を過ごすには最適の空間だ。

特別な一日を 極上のレストランで

リビエラグランブルーはどんなシーンでも最適なレストランだが、中でも特にオススメなのが、結婚記念日やプロポーズ、誕生日などのアニバーサリーシーンでの利用だ。

結婚記念日には、ケーキ入刀ができるホールケーキを用意し、結婚式の感動とともに記念日を祝うことができる。意中の女性がいる方には、プロポーズプランがオスス。シースайдチャペルを貸し切り、フロアリストが花束を、ブライダルチームが最高の舞台を整えてくれる。

リビエラグランブルーは、あらゆるシーンで極上の料理とおもてなしを提供してくれる、特別なレストランだ。



【リビエラ グランブルー】

Lunch : 11 30-15:30 (ラストオーダー 14:30)

Dinner : 17 00-21:30 (ラストオーダー 20 30)

所在地 : 〒249 0008

神奈川県逗子市小坪 5 23 16 (逗子マリーナ内)

TEL : 0467-25-0480

Web : www.riviera-g.jp

○注意事項

- ・ご利用の際は、事前にレストランを予約した後、マリーナ係留の予約をする必要があります。マリーナ : 0467 24 1000
- ・当日は、入港の1時間前に到着予定時刻の連絡が必要です。フロントより係留場所の案内をいたします。
- ・入港、係留後、ハーバーフロントにて入港届の記入が必要です。



クルーザーを資産として 考えるゼロベース発想

クルーザー所有の利点の1つは、チャーターマーケティングを通じて収入を生み出せる可能性にある。もちろん経験豊富なインターミディアリーが必要だ。キャンパー&ニコルソンズは、その専門性や経験値で他を圧倒するサービスを提供してくれる会社として知っておいても損はない。すべては契約次第であるもののクルーザーチャーターオペレーションで同社の右に出る会社を私は知ら

ない。オーナー、新キャプテン、新クルーすべての関係者に配慮を施しオペレーションにコミットしてくれる。

同社の最大の強みは、クルーザーという資産の潜在的ビジネス価値を最大化するグローバルな大手チャーターエージェンメントネットワークだ。世界中のチャーターニーズに直接アクセスできるので稼働率も上がるといわけだ。

すべてのクルーザーの ベストな能力を引き出す 専門性

そうはいっても、自分のクルーザーが他に貸し出されることに違和感を感じる読者も多いだろう。しかしながら同社は、すべてのクルーザーにはそれぞれ違う活用方法があることを知っている。100フィートのメガヨットであれポーターマツのあれ、オーナーのライフスタイルも考慮しながら世界中でベストな活用方法を見出してくれるだろう。高度な技術に支えられるクルーザーひとつひ

とつをまずハードから専門的に理解し、次にソフト面でのバリエーションの最大化してくれる極めてレアなサービスエージェンメントだ。

本誌の取材や調査などでも、冬はあまり愛艇に乗らないという話をよく聞く。思い切って愛艇を資産として考え、同社のようなチャーターマネジメントに貸し出すというのも、クルーザーと長く付き合っていく上でいいヒントになるはずだ。

文・増淵達也(本誌編集長)



写真提供：キャンパーアンドニコルソンズ インターナショナル

Cruise Service Concierge

Mission.1 愛艇をチャーターして収入を生み出す

キャンパー&ニコルソンの チャーターマネジメント



Dealer Pick Up Vol.1

NTP マリーナりんくう

NTP MARINA RINKU

Nice to People が広げるポーナムファン
～「人に素敵なことを届ける」～

「次もトヨタで」

「人に素敵なことを届けたい」。

NTP マリーナりんくうが掲げている理念「NTP (Nice to people)」にはこんな思いが込められている。

お客様や中部エリアの人々が、マリンレジャーを通じて新たな感動を体感したり、気軽により豊かなマリンスライフを楽しんだりできるように、販売だけではなくさまざまなところに力を入れている。

たとえば、これからマリンスライフを楽しむ人のために、全国に先駆けてポーナムによる「船舶免許講習」を開催している。受講生からの要望で始めた、ポーナムを活用した「マリンクラブ」も好評だ。

ゲストハウスはトヨタホームと連携することで、オーナーやゲストの方に上質な空間を提供している。1階のバブリックラウンジはくつろぎやすいカジュアルなデザインに、2階のオーナーズルームは「シックエレガンス」をテーマにした大人のプライベート空間を演出したデザインになっている。また、見学用モデルハウスとしても活用するなど、グループ力を生かしたマリーナになっている。

日々お客様と直に接しているから

〈取材協力〉
NTP マリーナりんくう
所在地：〒479-0882
愛知県常滑市りんくう町 3-6-1
TEL：0569-35-7200
Web：www.ntp.co.jp/marina/rinku/



こそ、改めて感じるのはポーナムの質の高さだ。よりクルマに近い操作性や充実の設備、アルミハルによる走波性に対する評価は高く、アフターサービスや信頼も含め「次もトヨタで」との声が強いという。なるほど、「もっとポーナムのことが知りたい」というリクエストが次々と出てくるわけだ。

ポーナムのオーナーも徐々に増え、今後は中部エリアを活かした「1 Day グルメクルージング」など、誰でも気軽に参加できる企画を増やし、多くの人に素敵なことを届けたいと願っているそうだ。



販売代理店一覧

No.	販売店名	所在地	TEL
【関東エリア】			
1	有限会社北欧産業	047-0007 北海道小樽市港町 4-5	0134-32-3911
2	株式会社トレイズ	064-0805 北海道札幌市中央区南五条西 27 丁目 3-1	011-562-3225
3	株式会社一映マリーン企画	041-0821 北海道函館市港町 1-35-7	0138-45-3122
4	株式会社くろしお	985-0003 宮城県塩釜市北浜 4-71-10	022-365-3220
5	株式会社中田浜マリーナ	965-0203 福島県会津若松市湊町静湯金戸ヶ入 381-18	0242-93-2050
6	有限会社マリンサービスいわき	970-0316 福島県いわき市小名浜下神白字綱取 172 番地	0246-53-6996
7	エム・ジーマリーン株式会社	272-0025 千葉県市川市大和田 2-19-6	047-370-1501
8	SEA 企画株式会社	121-0836 東京都足立区入谷 7-18-18	03-3857-5971
9	株式会社ファーストボート	132-0022 東京都江戸川区大杉 3-18-15	03-3653-5424
10	株式会社アリカ	236-0002 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町 16-6 T3-D	045-778-9410
11	本橋発動機株式会社	104-0054 東京都中央区勝どき 3-15-3	03-3531-7833
12	ニックスマリンコーポレーション株式会社	182-0002 東京都調布市仙川 2-7-11	03-3305-9030
13	株式会社ケーエムシーコーポレーション	230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町 2-19	045-504-1094
14	神奈川トヨタ商事株式会社	221-0062 神奈川県横浜市神奈川区浦島丘 3 番地 30	045-423-2611
15	有限会社ダルマ	221-0044 神奈川県横浜市神奈川区東神奈川 2-49-11	045-461-1062
16	株式会社平野ボート	235-0032 神奈川県横浜市磯子区新杉田町 2	045-771-2223
17	株式会社キーサイド	236-0007 神奈川県横浜市金沢区白帆 4-3 シーサイドピアビル 3F	045-773-0777
18	株式会社リビエラリゾート	249-0008 神奈川県逗子市小坪 5-23-9	0467-23-1000
19	株式会社ユニマットヴェラシス	239-0824 神奈川県横須賀市西浦賀 4-11-5	046-844-2111
20	株式会社スナガ	370-0704 群馬県邑楽郡明和町斗合田 113-1	0276-74-4110
【中部エリア】			
21	日本海マリン株式会社	933-0126 富山県高岡市城光寺川原 120	0766-44-8558
22	株式会社大木電業社	913-0045 福井県坂井市三国町南本町 3 丁目 4 番 17 号	0776-82-0079
23	熱海マリーナ株式会社	413-0102 静岡県熱海市下多賀 541-18	0557-68-2316
24	沼津埠頭株式会社	471-0867 静岡県沼津市本字千本 1905 番地の 34	055-951-7115
25	株式会社サード	473-0914 愛知県豊田市若林東町上外根 50	0565-52-4314
26	富士総合商事株式会社	431-1202 静岡県浜松市西区呉松町 1229 番地	053-487-0884
27	株式会社ジェイエスピー	444-0124 愛知県額田郡幸田町深溝大角豆田 1-6	0564-56-0022
28	出光マリンズ株式会社	441-0314 愛知県豊川市御津町御幸浜 1-1-21	0533-76-3100
29	アイサン海洋開発株式会社	444-0324 愛知県西尾市寺津町二丁 26 番地	0563-59-6435
30	愛知海運産業株式会社	441-3401 愛知県田原市緑が浜 4-1-5	0531-22-3130
31	名古屋トヨペット株式会社	479-0882 愛知県常滑市りんくう町 3 丁目 6 番地の 1	0569-35-7200
32	株式会社師崎ヤンマー商会	475-0837 愛知県半田市有楽町 6-108	0569-23-1571
33	ニュージャパンマリン株式会社	515-0501 三重県伊勢市有滝町 2259 番地	0596-37-6000
【関西エリア】			
34	株式会社社長龍マリーナ	523-0807 滋賀県近江八幡市中之庄町 1075	0748-32-5602
35	ボートセンター二色の浜 有限会社 畑谷	597-0062 大阪府貝塚市澤 334 番地の 1	072-438-9822
36	有限会社佳祐	640-8323 和歌山県和歌山市おた 485	073-433-3009
37	兵庫トヨタマリン株式会社	675-0082 兵庫県高砂市曾根町 2710-64	079-448-1515
38	シーサイド倶楽部有限会社	671-1321 兵庫県たつの市御津町苅屋 1131-1	079-322-8000
39	株式会社ポートオブ岡山	702-8016 岡山県岡山市小串 1173-2	086-269-2038
40	株式会社広島ベイマリーナ	734-0012 広島県広島市南区元字品町 42-16	082-255-6135
41	有限会社ビューマリン	721-0956 広島県福山市箕沖町 78-1	084-954-5055
42	ツネイン境ガ浜リゾート株式会社	720-0551 広島県尾道市浦崎町 1364-6	084-987-3460
43	株式会社竹原マリン	725-0013 広島県竹原市吉名町 4501-2	0846-28-0373
44	呉マリーン有限会社	737-0012 広島県呉市警固屋 9-6-3	0823-28-1344
45	海望企画株式会社	761-8031 香川県高松市郷東町 796-53	087-882-6800
46	新居浜マリーナサービス株式会社	792-0872 愛媛県新居浜市垣生 3 丁目乙 324 番地	0897-46-5636
47	株式会社海援隊	818-0035 福岡県筑紫野市美しが丘北 1-4-1	092-555-4801
48	有限会社山崎ヤンマー	819-1334 福岡県糸島市志摩岐志 360-1	092-328-2340
【営業所】			
49	トヨタマリン営業所	443-0014 愛知県蒲郡市海陽町 2-1	0533-58-2451



Editor's VOICE



オーシャンスタイル創刊号からは半年が過ぎました。おかげさまで第2号を無事皆様にお届けすることができたことを嬉しく思います。

今号は、ポーナムに縁の深い方々へのインタビューが創刊号よりさらに充実しています。レーシングドライバ飯田章氏との対談では、ポーナム35の持つこだわりと操船安定性をメッセージとしては是非受け取っていただきたいと思っています。

また、創刊号から人気企画となったポーナムオーナーインタビューをベンチャービジネスの元祖、株式会社コアの種村会長にご対応いただきました。70本ものカジキを釣り上げ

ている種村氏が褒めちぎるポーナムの素晴らしさもまたご堪能いただければ幸いです。一方で、この間様々な試乗会を取材させていただき、楽しく和気あいあいの表情満載のイベント報告ページもさらにパワーアップしております。ぜひお楽しみください。

2014年が皆様にとってハッピーな年になることを祈念してペンを書かせていただきます。3月のボートショーでぜひお会いしましょう！

編集長 増渕 達也

2014年1月



発行人：トヨタ自動車株式会社

編集長：増渕 達也

編集：宇賀持 一弘

スタッフライター：近藤 伶音
丸橋 美樹
山下 萌

フォトグラファー：中村 俊哉

アートディレクション：中村 謙治

写真提供（一部）：長崎県観光連盟（P.38-41）

【取材協力先】

■レーシングドライバー 飯田 章（P.6-9）
Web：http://akira.jp/

■株式会社コア 代表 種村 良平（P.14-17）

■澤村 里麻（P.18-21）

■クリスタルヨットクラブ（P.30-33）
〒140-0002 東京都品川区品川 2-3-16
シーフォートスクエア1階
TEL：03-3450-4300

■長崎サンセットマリーナ（P.38-41）
〒850-0068 長崎県長崎市福田本町 1892
TEL：095-865-3000
FAX：095-865-2273
Web：http://www.n-sunsetmarina.com/

■西福岡マリーナ マリノア（P.42-43）
〒819-0001 福岡県福岡市西区小戸 2-11-1
TEL：092-885-2288
FAX：092-885-2289
Web：http://www.marinoa.co.jp/

■リビエラ グランブルー（P.44-45）
〒249-0008 神奈川県逗子市小坪 5-23-16
（逗子マリーナ内）
TEL：0467-25-0480
Web：http://www.riviera-g.jp

■Camper & Nicholson's International（P.46-47）

■NTP マリーナりんくう（P.48）
〒479-0882 愛知県常滑市りんくう町 3-6-1
TEL：0569-35-7200
Web：http://www.ntp.co.jp/marina/rinku/



THE PREMIUM OF PREMIUMS



さらに深化した美しさ。さらに進化した快適性。

PONAM-35swは、従来のドライブアシストにバーチャルアンカーシステムを追加、
トヨタマリン独自の操船支援システムをさらに充実させています。

インテリアには木目調デザインを採用するなど、すべてにこだわり抜きました。

あなたを待っているのは、さらなる上質な「海の遊び」です。

35
SW
Premium Cruiser
PONAM-35SW

試乗会の開催日などのご案内は、ホームページまたは、フリーダイヤルまでお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社 マリン事業部 トヨタマリン営業所 〒443-0014 愛知県蒲郡市海陽町2丁目1番地

0120-532-451 www.toyota.co.jp/marine/

※写真は撮影用小物、オプションパーツ等を含む特別仕様艇です。



※写真は撮影用小物、オプションパーツ等を含む特別仕様艇です。



さらに深化した美しさ。さらに進化した快適性。

PONAM-35swは、従来のドライブアシストにバーチャルアンカーシステムを追加し、トヨタマリン独自の操船支援システムをさらに充実させています。

インテリアには木目調デザインを採用するなど、すべてにこだわり抜きました。

あなたを待っているのは、さらなる上質な「海の遊び」です。

THE PREMIUM OF PREMIUMS

35
SW
Premium Cruiser
PONAM-35sw

試乗会の開催日などのご案内は、ホームページまたは、フリーダイヤルまでお問い合わせください。

トヨタ自動車株式会社 マリン事業部 トヨタマリン営業所 〒443-0014 愛知県蒲郡市海陽町2丁目1番地



0120-532-451 www.toyota.co.jp/marine/